

導入企業1,500社を突破！

**「社長のおごり自販機」が“バージョン2.0”をリリース
多様化する職場の課題解決に向けた新機能追加で
さらなる職場のコミュニケーション活性化へ**

— 自部署以外との交流を促進する機能や3人同時利用などに対応 —



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/> に掲載しています。

サントリービバレッジソリューション（株）が展開する職場コミュニケーションの活性化を目的とした「社長のおごり自販機」の導入企業数が、26年9月末時点で1,500社を突破しました。累計利用者数は60万人を超え、職場内における雑談機会の創出件数は1,800万回※¹に達しました。

今回、サービス開始から約5年間にわたり職場コミュニケーションを支えてきた「社長のおごり自販機」の学びを通して、職場におけるコミュニケーション創出をさらに後押しするべく、「自部署以外との交流を促進する機能」および「3人同時利用機能」などの新機能を追加した“バージョン2.0”を新たにリリースします。

今回の進化により、設置先法人様の多様な働き方や職場課題に対してより柔軟に対応し、飲料自販機の新たな価値を提案していきます。

※1 2026年9月末時点の累計。

＜新機能追加の背景＞

「社長のおごり自販機」を導入した企業からは「会話が生まれるようになった」「社員の表情が明るくなった」「周囲に相談しやすくなった」などの声を多数いただいております、サービス利用率は96%※²、従業員満足度は98%※³に上ります。

一方で、21年のサービス開始以降、日本の職場環境は大きく変化しており、働き方の多様化、AI活用の進展、人手不足の深刻化、世代間ギャップの拡大など、企業ごとに求められるコミュニケーションのあり方も多様化しています。

「社長のおごり自販機」の導入企業に対するヒアリングを通じて、

- ・ 部署を超えた交流をさらに広げたい
- ・ 新しいメンバーが早く職場になじめる環境をつくりたい
- ・ 管理職と部下が自然にコミュニケーションを取れる機会を増やしたい
- ・ 組織へのつながりや帰属意識を高めたい

といったニーズが以前に比べて多くなっていることがわかりました。

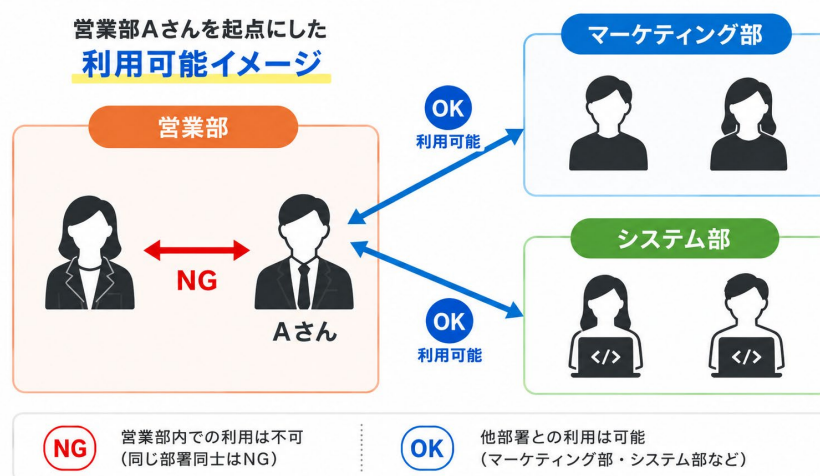
こうした結果を受け、これまで約5年間、1,500社を超える企業の職場コミュニケーションを支援してきた知見をもとに、企業ごとのコミュニケーション目的により柔軟に対応できる新機能をリリースします。

※2 導入企業の12ヶ月後における従業員の利用率。自社調査（n=235）。

※3 導入企業の12ヶ月後における従業員へのアンケート調査。自社調査（n=235）。

＜バージョン2.0での新機能＞

● 自部署以外との交流を促進する機能



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/> に掲載しています。

コミュニケーションの輪をこれまで以上に広げるため、自部署のメンバーではなく、他部署のメンバーとの利用に限定する機能です。普段接点の少ない従業員同士の交流を促進し、新たなコミュニケーションのきっかけを生み出します。

さらに、導入企業のご担当者様が閲覧できるダッシュボード上では部署間交流の利用実績をグラフで確認できるようになります。どの部署とどの部署の交流が生まれているかを可視化することで、組織内コミュニケーションの状況把握と施策立案にお役立ていただけます。

なお、「自部署」の区分は実際の部署に限らず、導入企業が目的に応じて自由に設定できます。例えば「新入社員」「ベテラン」「グループ会社」など、促進したい交流に合わせて任意のグループを設定することが可能です。

● 3人同時利用機能



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/> に掲載しています。

これまで1対1のみだった利用形式を、最大3名での同時利用※4に拡張します。3人での雑談では、複数の視点が交わることで話題が広がりやすくなります。グループでの雑談を促すことで、部署を越えたコミュニケーションのきっかけや、新たなアイデアにつながる機会が生まれることが期待されます。

この機能によって、「1対1で話しかけると重く受け取られそう」「2人きりになるのが気まずい」といった管理職や若手社員が感じやすいハードルも、3人という人数が解消することを期待しています。

※4 自販機1台で「3人版」と「2人版」の併用はできません。

清水 崇文（しみず たかふみ）

上智大学 言語教育研究センター／大学院言語科学研究科 教授



「1対1の雑談と3人の雑談には、それぞれ異なる良さがあります。1対1の雑談では、相手に集中して話すことで、より深い対話や信頼関係につながりやすい。一方、3人での雑談では、複数の視点が交わることで話題が広がりやすくなります。目的に応じて、人数を使い分けることが重要だと考えます。」

2 人の雑談	3 人の雑談
深い対話や内省的な対話が生まれやすい	多様な視点が交わり、話題が広がりやすい
1 対 1 の信頼関係を深めやすい	部署を越えたコミュニケーションのきっかけづくり
本音や未整理の考えを話しやすい	新たなアイデアや共通点につながることもある

〈「社長のおごり自販機」について〉



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/> に掲載しています。

「社長のおごり自販機」は、社員証を同時にタッチすると、対象人数分の飲み物が無料※⁵になる法人様向けのコミュニケーション活性化サービスです。いつでも手軽に飲み物が買える自販機を通じて、社員同士の自然な会話や部署を超えた交流を生み出します。雑談を無理に促すのではなく、自然に生まれる仕組みによって、エンゲージメント向上や組織活性化など、企業が抱えるさまざまな組織課題の解決をサポートします。

※5 本サービス分の飲料費用は設置先の法人様負担となります。

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

水と生きる SUNTORY

以 上

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
 さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
 社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
 「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。